

# 繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246



「牡丹」

画 池田澄子（佐岡分教会ようぼく）

## なぜ繁藤の教会役員は 全員男性なのだろう？

いきなり物議を醸し出すようなタイトルから始まったが、決して繁藤大教会の現状を批判し、悲観したいわけではない。むしろ、誰もが安心と自信を胸に抱くことのできる、そんなより良い教会を目指していくためにも皆さんと考えを深めていきたい。

## ジェンダーとは

つい先日、天理大学おやさと研究所「※1」主催の特別講座に参加した。そこで取り扱われたテーマの一つが「ジェンダー（gender）」についてだった。ジェンダー平等やトランスジェンダーなどの言葉は誰もが一度は耳にしたことがあるはずだ。ジェンダーの前後に引付けく言葉によって、意味やニュアンスが変わってくるが、ここでいうジェンダーの意味は「性別」というよりも、人間社会における「男らしさ、女らしさ」と捉えた方が理解しやすいだろう。

よくニュースで出てくる「ジェンダー」にまつわる文脈の多くが社会の抱える問題・課題として取り扱われているが、これはどういうことなのか。

例えば、何気なく使う「女子力」や「草食系男子」などの言葉にも、「男たる者かくあるべし」とか「理想の女性像」といったような概念が内在していたりする。性別を男と女の2つに分けて、個性や能力を凶るこのような考え方は、無意識にしているものでつい「当たり前」と考えがちだ。しかし、時に抵抗を感じ、人によって葛藤が生じることもある。LGBTQなどはその代表的な例だ。どの会社や学校、家庭などにも存在している「当たり前」を疑ってみると、これまで見えてこなかった格差や差別が見えてくることもある。

そして、この視点はジェンダーに関わる事柄に限ったものではなく、あらゆる社会の課題にあてはまる。現代において、そのような物事の見方、姿勢を持つことはどんなコミュニケーションや立場でも重要視されつつあり、もちろん我々のような宗教家は言うまでもない。

## ジェンダーの視点で教会を見てみる

さて、繁藤のことに話を戻し、まず現状認識からしてみたい。まず信者（ようぼく）の実数でいうと、全体の約6割が女性である。翻って、部内教会長の9割以上が男性だ。また大教会としては役員、准員、婦人などの立場を設けている。他にも、祭事部や会計部などの部署が複数あるとともに、婦人会や青年会などの会組織もある。ただ、繁藤大教会全体としての重要な議論や意思決定については役員会議が担っている。しかしタイトルにもある通り、20人足らずの役員は全員が男性だ。

約2年前、教会長を拝命したばかりの頃、私は上記の現状に疑問を抱いた。現代社会の潮流も鑑み、大教会の大きな方向性を示していく役員という立場に女性も入ってほしいと考えた。そこで当時、婦人会の責任者をしていた母親にそのことを相談したところ、「そんなつもりはない」と一蹴された（笑）。よくよく話を聞いてみると、なるほど納得。女性をはじめ、繁藤の中にそういった概念や風土がまだ醸成されていないことが見えてきた。正確にいうと、以前はあったものが自然と薄らいでしまったのかもかもしれない。というのも、教会史を見ると過去にも女性役員は数名いたし、そもそも考えてみれば祖母である5代会長「※2」は女性であった。

2023年度 天理大学おやさと研究所特別講座  
**「教学と現代」**  
 社会の中で問われる宗教の役割と使命  
 一格差・ジェンダー、そして宗教の公共性—  
 【演題】現代日本社会と宗教の役割  
 【講師】熊田 一雄（愛知学院大学准教授）  
 2024年3月25日(月) 14:00~16:20

筆者が参加した講座

## お道における女性の活躍

あらためて祖母の姿を思い出すと、「女らしさ」はもちろん、「男らしさ」の両方を持ち合わせていたように感じる。ご部内の教会に目を向けても、女会長として求心力や結束力を発揮し、教会が活気づいた例はたくさんある。

最近においても、女性の活躍に感心することは多々ある。例えば昨年、修養科の一期講師として繁藤からは女性の先生を推薦し、女子クラスの担任として3ヶ月つとめてもらったが、修養科側から大変感謝された。また繁藤地域において実施している地域食堂（こども食堂）や高齢者向けの宅食支援も女性なしには活動がままならない。他にも昨年に行った大教会の組織再編成で、全体的に女性の比率が高まったのだが、私もいくつかの会議体に参加して思うのは、やはり女性の発言や役割などは本当に貴重であるということだ。はつきり言って教会でも、信仰家庭という単位においても、女性陣に勢いがでると明らかに雰囲気が変わる。

一方で、妻がよく「私なんて」ということを口にするが、そのたびに「そんな言葉はいらないと思うよ」と私は答える。他の女性でも遠慮も混じってこのような言葉をたまに耳にするが、多くの場合、というかほぼすべての機会において、そんな言葉は必要ないと心底思う。

## ジェンダーとお道の教え

最後に天理教の教えにも触れたい。お道が目指す「陽気ぐらし」を実現するための役割（ようぼく）において、男女の隔てはない「※3」と教えられる。また最も重要な祭儀であ

る、「おつとめ」を勤めるにあたり、そもそも女性の存在がないと成り立たないというのは、他宗教をみても世界的に稀有なものだ。親神様の守護（働き）、男女の特性や役割についてまだ述べたいことはあるが、紙面の都合上、今回は割愛する。ただ大事なことは、男や女である前に、我々人間は等しく親神様の子供であり、一れつ皆兄弟姉妹「※4」であることだ。むしろ男女問わず、互いに立て合う（尊重し合う）こと、助け合うことの方が大切だと私は思う。

結びに、本質を見据えて

いろいろな話が散らばったが、まとめとして最初の問いに戻ると、繁藤大教会において単に役員に女性を起用し、ジェンダーの差を埋めようとするのが本質の目的ではない。この問いの答えになつてはいないが、一つはつきり言えるのは、誰もが自分の徳分を活かし、お道の素晴らしさを広く伝えていくためには、女性のチカラが今以上に必要になってくる。



婦人会繁藤支部の先輩方

今回はジェンダーという概念を用いて論じたが、冒頭にも述べたように、悲観や生きづらさを感じるのではなく、誰もが安心と自信を胸に抱くことのできる、そんな教会・信仰を繁藤につながる皆さんと共に築いていきたい。

立教百八十七年四月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

脚注

〔※1〕 正式名称は「天理大学附属おやさと研究所」。時代とともに進化する知性によって生じる、啓示と現代思潮とのギャップを埋め、時代に適応する教学の研究を展開する役目を担う。

〔※2〕 坂本藤恵 5代会長。夫である4代会長の出直しを機に、昭和33年に40歳で繁藤大教会長に就任。在職期間は平成元年までの約30年間。平成27年、99歳で出直し。

〔※3〕 この木いもめまつをまつわゆへんでな  
いかなる木いも月日をもわく（7号21）

（注釈）よふばくとなる者には男女による区別はない。男でも女でも、心の澄んだ真実の者であるならば、親神はよふばくとする考えである。

〔※4〕 せかいぢういちれつわみなきよたいや  
たにんとゆうわさらにないぞや（13号43）

（注釈）世界一列の人間は皆兄弟で、他人というものは一人も無い。この真実元初まりを知っている者の無いのが、親神としては、大そうはがゆくて堪らない。

【主教百八十七年 三月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教  
繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様にはおふてさきを通して、

だんだんとかどものしゆせまちかねる神のをわくこればかりなり(四号六五)

と、果てしなき親心のまにまに日夜絶え間なくお見守り下さいまして、厚き御  
守護のもと成人の道へと恙なきようお導き下され、お育て下さいませ御慈愛の  
程は思えば思う程に有難く勿体ない極みでございます。私共は親神様の御厚恩  
に深く感謝し、届かぬながらも親心にお伝えさせて頂けるよう日々勇んでお道  
の御用に励ませて頂いておりますが、その中にも今日の吉き日は、これの繁藤大  
教会に御許し頂きました月々の御祭日でございますので、只今からおととめ奉仕  
者一同心を揃え、座りづとめてをどりを勤め、三月の月次祭を執り行わせて頂  
きます。御前には、今日を樂しみに寄り集った教会長、ようばく、信者一同が、  
共に陽気におうたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ、尚一層の  
成人をお誓いさせて頂きます。

わけて又、今月末に行われます少年会繁藤団おととめ総会において、この幼少年  
育成の機会を活かし、繁藤の仲間同士の結びつきを深め、おととめの大切さ、信仰  
の喜びを子どもたちに伝えさせて頂きたいと存じます。私共、繁藤の理に繋がる  
お互いは、教祖百四十年祭の三年千日の時句に仕切つて心の成人に励み、人たす  
けの誠真実の心を働かし、それぞれの持場立場で精一杯祭活動を努め切らせ  
て頂く所存でございます。各教会、各家庭において、親から子、子から孫へとお  
道の信仰が切れ目なく繋いでいきますようお導きの程を、又互い立て合い扶け  
合いの陽気づくめに睡び楽しむ世の状に、一日も早く立て替わりますよう御守  
護の程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十七年 三月月次祭 祭典役割》

|        |       |        |        |       |
|--------|-------|--------|--------|-------|
| 祭主     | 大教会長  | 八足出し   |        | 立花真一郎 |
| 指図方    | 田村辰久  |        |        | 佐々木 恵 |
| 扨者     | 村上英士  |        |        | 前田 豊  |
| 扨者     | 空閑一将  |        |        | 田村省悟  |
| 賛者     | 空閑一教  |        |        | 村上由高  |
| 賛者     | 村上由高  |        |        | 空閑慶吾  |
| 座りづとめ  | 藤田一憲  | てをどり前半 | てをどり後半 |       |
| 大教会長   | 藤田一憲  |        |        | 村上由高  |
| 前大教会長  | 空閑一教  |        |        | 土居道久  |
| 田村辰久   | 田村聡佐  |        |        | 藤田善典  |
| 大教会長夫人 | 宮田まゆみ |        |        | 空閑 都  |
| 前会長夫人  | 村上美栄子 |        |        | 田村純代  |
| 黒石伸子   | 武市まち子 |        |        | 田村育与  |
| 宮田孝道   | 宇山基紀  |        |        | 前田 豊  |
| 村上英士   | 伊藤正福  |        |        | 空閑慶吾  |
| 空閑一将   | 立花真一郎 |        |        | 立花孝一  |
| 為田基紀   | 田村省悟  |        |        | 藤田 誠  |
| 為田紀久男  | 佐々木 恵 |        |        | 村上 修  |
| 佐藤栄治   | 川田節夫  |        |        | 宮田教一  |
| 坂本久徳   | 佐藤節幸  |        |        | 黒河明大  |
| 安部道郎   | 秋月真一郎 |        |        | 坂井博文  |
| 田村久徳   | 立花孝一  |        |        | 秋月英希  |
| 佐藤順子   | 為田賢子  |        |        | 佐藤明子  |
| 空閑さとの  | 坂本喜子  |        |        | 秋月孝子  |
| 藤田洋美   | 佐藤文代  |        |        | 黒石美佐  |
| 宮田孝道   |       |        |        |       |

## 【神殿講話】

(4月) 安部 道郎

## 【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(4月) 為田 紀久男

## 【教会長神殿当番】

(4月) 方城・富久地・赤池

(5月) 地ノ島・田久生・北大津

## 【詰所教養掛】

(4月) 為田 基紀

(5月) 空閑 一将

## 【詰所事務当番】

(4月) 平野 正敏 (教祖御誕生祭)

小長 文慶 (月次祭)

(5月) 大西 義一

佐藤 孝彦

## 【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん

日之富 6月16日～30日

○婦人会詰所ひのきしん

4月18日～19日 (高杉)

25日～26日 (大教会)

## 【五季づとめ】

四月は五季づとめの月でございますので、左記の通り各上級を通してお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ 三〇〇〇円

一、特別費(かなめ会費) 二〇〇〇円

合計 五〇〇〇円

## 【婦人会・少年会・青年会各会費】

## 【納入のお願い】

令和6年度の各会費の納入を、左記の通りお願い致します。

記

・婦人会 一名称 六〇〇〇円

・少年会 一名称 六〇〇〇円

・青年会 一名称 六〇〇〇円

納入については、各会責任者もしくは会計担当者にお納め頂き、必ず領収証を受け取って下さい。やむを得ず詰所事務所にお預けになる場合は、詰所にて預かり証しか出せませんのでご留意下さい。

## 【婦人会】

○「御赤衣料」について

繁藤婦人会では、毎年教祖御誕生祭に、「御赤衣料」として御供をさせて頂いております。ご賛同頂ける方は、直属教会を通して宮田委員までお届けいただきますようよろ

しくお願いいたします。

○天理教婦人会第一〇六回総会

・式典 4月19日(金) 午前9時30分

・場所 本部中庭、南・東礼拝場前

西境内地

・記念行事 支部の集い

※19日の昼食はお弁当になります。

お弁当、お茶付き400円です。

ご注文される方は、4月15日までに必ず

詰所までお申し込みください。

○別席強調月間

4月1日(月)～4月30日(火)

にぎやかに総会月の別席場

老いも若きも別席者の

ご守護をいただきますよう

## 【少年会】

去る、3月31日、「第41回少年会おつとめまなび総会」を開催、少年会員68名、育成会員101名の参加者のもと、それぞれ各隊で練習してきた下りを元気につとめました。続く式典では大教会長が真柱様からの告示を代読し、続いて子供達にむけメッセージをおくり、その後食堂周辺にて模擬店・ゲーム・抽選会で楽しい一日を過ごし、夏のこどもおちばがえりでもまた再会できるように約束をし、つとめ終えさせて頂きました。育成会員の皆様方には、お世話取り頂き、誠にありがとうございました。

【学生会】

去る、3月28日本部中庭にて、「次代を担うようぼくへ」とのスローガンのもと、春の学生おぢばがえりが開催されました。その後詰所にて直属アワーをさせて頂き、繁藤に繋がる9名の学生が参加して下さいました。



春の学生おぢばがえり



【お出直し】

去る3月23日、實彌原分教会三代会長夫人本田ヒサ子刀自が、お出直しされました。享年97歳

【修養科修了生(991期)】



奈井江 藤井幸子

【をびや】

1 件



少年会おつとめまなび総会

大教会長様のご巡教を賜り、皆勇んで仕切り月を執り行わせて頂きました。

大教会長様は、ご講話の中で「人を扶ける心」を育てていく事が大切であると、ご教示下さいました。私たちは教祖百四十年祭へ向けて、日々人の為にながらできるかを改めて考える旬を頂いたと感じます。

次回の仕切り月へ向けて、感謝と人扶けの心で歩いていきたいと思ひます。(秋月英希 会長)



【仕切り月の喜び】  
種崎部属 孕分教会  
(令和6年3月16日)